

平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 木徳神糧

コード番号 2700 URL <http://www.kitoku-shinryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平山 惇

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部門財務部長 (氏名) 稲垣 英樹

TEL 03-5636-1501

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	78,702	△0.9	727	△3.7	643	△5.7	368	△9.8
21年12月期第3四半期	79,444	—	755	—	682	—	408	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	43.42	—
21年12月期第3四半期	48.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	21,737	5,497	23.3	597.85
21年12月期	29,102	5,252	16.5	567.19

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 5,069百万円 21年12月期 4,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	2.00	—	3.00	5.00
22年12月期	—	2.00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,320	2.8	1,140	9.3	900	△4.4	500	△13.6	58.96

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

連結業績予想の修正については、本日(平成22年11月11日)公表の「平成22年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|---------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年12月期3Q | 8,530,000株 | 21年12月期 | 8,530,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年12月期3Q | 49,876株 | 21年12月期 | 50,029株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 22年12月期3Q | 8,479,970株 | 21年12月期3Q | 8,480,323株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想数値に関する事項は「添付資料」2ページの「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新興国向け輸出を中心に一部回復の動きが見られるものの、急激な円高や政策効果の息切れ等により、景気の先行きが不透明な状況となっております。

食品業界におきましても、デフレ圧力が依然強いなか、雇用・所得への不安を背景に個人消費の低迷や消費者の節約志向が改善されず、低価格競争が消費喚起のために多用される等、企業間の競争が厳しさを増しております。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、主力の米穀事業は、コメの消費減少や民間の在庫過多等により販売価格が下落する厳しい環境のなか、既存取引の基盤強化や新規取引開拓の促進に注力しながら、製造及び販売コストダウンを強力に図った結果、前年同期並みの業績を確保いたしました。また、飼料事業は相場下落が続くなかで、取扱数量の拡大を達成したこと等により堅調に推移いたしました。しかしながら、個人消費の低迷、製造コストの上昇等により、鶏卵事業、食品事業の主力分野である鶏肉加工販売と惣菜加工販売は依然厳しい状況にあります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高78,702百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益727百万円（同3.7%減）、経常利益643百万円（同5.7%減）、当四半期純利益368百万円（同9.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は21,737百万円となり、前連結会計年度末と比べ7,365百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の増加額725百万円に対し、受取手形及び売掛金の減少額1,766百万円、たな卸資産の減少額3,882百万円、前渡金の減少額2,128百万円、有形固定資産の減少額183百万円、投資有価証券の減少額59百万円等があったためであります。

負債につきましては負債合計が16,240百万円となり、前連結会計年度末と比べ7,610百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の増加額613百万円に対し、支払手形及び買掛金の減少額1,824百万円、短期借入金の減少額5,092百万円、未払法人税等の減少額294百万円、流動負債その他の減少額1,089百万円等があったためであります。

純資産につきましては純資産合計が5,497百万円となり、前連結会計年度末と比べ244百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加額323百万円等があったためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

デフレ圧力が強いなか、個人消費の低迷や消費者の節約志向の影響を受けて、鶏卵事業や食品事業では販売の不振や競争激化による収益率の低下が続くものと予想しております。しかしながら、米穀事業では製造及び販売におけるコストダウンの進展や連結子会社の業績回復があり、また、飼料事業では引き続き順調に推移するものと予想しております。これらの状況を踏まえまして、平成22年8月12日に公表した通期業績予想を修正いたしました。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

・たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについて簿価切下げを行う方法によっております。

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、且つ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,798,154	2,072,879
受取手形及び売掛金	7,608,248	9,375,149
商品及び製品	1,164,799	4,060,477
仕掛品	387,972	491,564
原材料及び貯蔵品	1,063,462	1,946,749
前渡金	1,375	2,130,146
繰延税金資産	170,657	157,446
未収入金	124,599	104,413
その他	130,534	245,770
貸倒引当金	△5,364	△7,545
流動資産合計	13,444,439	20,577,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,577,392	2,692,226
機械装置及び運搬具(純額)	1,091,065	1,132,127
土地	2,957,521	2,957,521
リース資産(純額)	21,649	25,081
その他(純額)	49,304	73,020
有形固定資産合計	6,696,933	6,879,978
無形固定資産		
ソフトウェア	44,563	30,243
その他	44,808	44,304
無形固定資産合計	89,372	74,547
投資その他の資産		
投資有価証券	850,263	909,522
長期貸付金	9,302	7,606
長期前払費用	21,241	17,724
繰延税金資産	5,325	4,644
その他	708,445	734,643
貸倒引当金	△88,023	△102,877
投資その他の資産合計	1,506,554	1,571,263
固定資産合計	8,292,860	8,525,789
資産合計	21,737,299	29,102,843

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,744,812	4,568,840
短期借入金	6,330,612	11,422,657
1年内償還予定の社債	519,100	874,200
1年内返済予定の長期借入金	1,480,480	1,138,872
リース債務	4,576	4,576
未払法人税等	81,108	375,235
繰延税金負債	—	632
賞与引当金	282,857	142,809
役員賞与引当金	—	1,400
その他	1,501,083	2,590,824
流動負債合計	12,944,630	21,120,049
固定負債		
社債	694,000	733,600
長期借入金	2,017,653	1,404,073
リース債務	17,072	20,505
繰延税金負債	447,169	464,435
退職給付引当金	34,972	30,625
負ののれん	—	2,174
その他	84,562	75,090
固定負債合計	3,295,429	2,730,503
負債合計	16,240,060	23,850,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	529,500	529,500
資本剰余金	331,500	331,500
利益剰余金	4,353,781	4,029,927
自己株式	△18,806	△18,862
株主資本合計	5,195,975	4,872,064
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△51,383	△39,340
繰延ヘッジ損益	△4,039	29,610
為替換算調整勘定	△70,719	△52,573
評価・換算差額等合計	△126,143	△62,304
少数株主持分	427,406	442,530
純資産合計	5,497,239	5,252,290
負債純資産合計	21,737,299	29,102,843

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	79,444,974	78,702,947
売上原価	74,398,602	73,684,378
売上総利益	5,046,372	5,018,568
販売費及び一般管理費	4,290,493	4,290,639
営業利益	755,878	727,929
営業外収益		
受取利息	4,866	897
受取配当金	12,681	14,236
不動産賃貸料	46,471	40,288
負ののれん償却額	14,829	3,708
為替差益	—	5,354
その他	60,224	52,238
営業外収益合計	139,072	116,724
営業外費用		
支払利息	181,512	162,721
不動産賃貸費用	14,067	12,529
デリバティブ評価損	188	12,547
為替差損	576	—
その他	15,885	13,010
営業外費用合計	212,229	200,808
経常利益	682,720	643,845
特別利益		
固定資産売却益	—	136
投資有価証券売却益	—	33,246
貸倒引当金戻入額	7,208	4,678
関係会社事業損失引当金戻入額	11,595	—
その他	1,011	825
特別利益合計	19,815	38,887
特別損失		
固定資産売却損	1,932	2,522
固定資産除却損	4,646	2,513
投資有価証券評価損	9,898	16,489
貸倒損失	10,291	—
貸倒引当金繰入額	14,430	—
事務所移転費用	—	14,660
その他	6,487	1,577
特別損失合計	47,686	37,762
税金等調整前四半期純利益	654,849	644,969
法人税、住民税及び事業税	316,946	275,555
法人税等調整額	△71,606	△264
法人税等合計	245,340	275,290
少数株主利益	1,088	1,482
四半期純利益	408,421	368,196

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。